

# 広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net ホームページ https://kosaiji.net/

## 法座のご案内

新型コロナウイルス  
感染症の拡大防止のため  
秋季彼岸会は  
中止いたします



## 今号の法語

過去を変える  
ことはできないけれど  
過去の意味は  
変えることができる

## 今号の内容

- ・護持会が新体制になりました
- ・広濟寺前の道路を改修しています
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム



先月は富山県もコロナ感染が急拡大。どうかピークは越えたようですが、今回で「第五波」ということになるそうです。

一体いつまで続くのか、コロナ禍の日々は窮屈きゆうくつなことばかり。コロナさえ無ければ今頃はあんな生活をしていただろうな・・・。「たれば」ばかり考えてしまいますが、コロナの事実が変わりません。

一方で、コロナによって私たちは色んな事にも気づかせられました。当たり前と思っていた日常がどれだけ多くのつながりに支えられたものだったのか・・・。コロナ禍を経験したからこそ見えてきたものだったであつたはず。

私たちの人生は思わぬことばかり。嬉しいこともあれば、もう二度と経験したくない悲しいことだつてありました。過去の一つ一つに、きっと大切な意味があるのではないのでしょうか。

# 護持会が新体制になりました

今年度から広濟寺護持会が新体制となりました。ご紹介させていただきたいと思います。

門徒総代

高嶋一正さん(後正寺)

※兼護持会会長

後藤通孝さん(蔵野町)

吉田克行さん(荒又)

護持会副会長

篠原義一さん(笹川)

下村嘉夫さん(下老子)

を始め、全三十六名の方々に  
お世話いただきます。

また、前役職者で今回退任  
された方が

門徒総代

長瀬清八さん(高田島)

高嶋憲成さん(高田島)

護持会副会長

後藤勲さん(蔵野町)

島田良雄さん(一步二歩)

です。長い間お寺の護持発展  
にご苦労いただき、本当にあ  
りがとうございました。

おかげ様で多くの方々に支  
えていただきながら広濟寺は  
運営されています。今後とも  
皆さまのお力添え宜しくお願  
い致します。

# 広濟寺前の道路を改修しています

現在、広濟寺前の道路を改  
修中です。今から十年前の護  
持会において方針を決定して  
いたのですが、ようやく工事  
にまでたどり着くことができました。

場所は、お寺に入ってくる時  
にクランク状となっている交差  
点(写真下)。これを車(大型  
車含む)が入って来やすいよう  
にする工事です。

電信柱・掲  
示板・地藏  
堂・防火用水  
の看板を南側  
に移動し、路  
面を整備する  
ことになりま  
す。  
この工事に



ご迷惑をおかけして申し訳ありません



より、正面から見たお寺の景  
観もスッキリしたものになりそ  
うです。

おかげ様で来月末までには  
出来上がるとのこと。工事中  
はご迷惑をお掛けしますが、  
完工まで楽しみにお待ちくだ  
さい。

# 千夏のきときと日記

お寺の庭で彼岸花を見つけた。散歩をしていると茶色くなった栗が落ちていたり。もう秋が来たんだなあと感じます。日々慌ただしく過ぎていきますが、このように季節を感じることを忘れないように心がけたいです。



さて先ほど述べましたが、晴れている日は娘をベビーカーに乗せて散歩するのが日課です。先日散歩していると、見たことのない中学生の男の子五人くらいとすれ違いました。面識はないし、中学生は子供だから軽く会釈で済ませようと思っていたら、なんとこの男の子たちのほうから私たちに「こんにちは！」と元



気に挨拶をしてくれました。男の子たちから挨拶をしてくれると思ってもなかった私はビックリしましたと同時に、すごく嬉しくなりました。そして高を括った自分自身、とても恥ずかしい気持ちになりました。自分から進んで挨拶をする大切さを今一度男の子たちから教わりました。コロナ禍で人と会う機会が少なからこそ、日常の挨拶は大切にしたと思います。

この挨拶という言葉ですが、

実はもともと仏教語なのは御存知でしょうか。

挨拶は「押す」こと。拶は「せまる」という意味から、挨拶は「前にあるものを押しつけて進む」ことをいいます。禅家では、「一挨拶」といって、師匠が門下の僧に、または修行僧同士があるいは軽く、あるいは強く、言葉や動作で、その悟りの深淺を試すことがあります。これが挨拶なのです。そこから転じて、やさしく応答とか返礼、儀礼や親愛の言葉として使われるようになりました。(本願寺出版社「くらしの仏教語豆事典」より)

難しくなりましたが、私たちのまわりにはこのようにもともと仏教用語だった言葉がたくさんあります。例えば、「迷惑」・「我慢」・「邪魔」・「バカ」といった悪いイメージの言葉から、「ありがとう」・「縁起」・「愛」といった良いイメージの言葉もあります。詳しくは住職・若院までお尋ねください！

## 住職コラム

昨今の気候の変動の為か、雨が多く太陽の出が悪い八月でした。

「蜂」が多く飛んでいたはずですが、俗にいう「ハエトリグモ」も全く見かけない。「とんぼ」はどうですか。とは云うものの我が周辺の雑草群は元気はつらつ。草刈り・樹木剪定に追われ、「休むなよ、頑張れよ」と励ましてくれているのでしょうか？

我が孫はいよいよ立って歩くようになり、移動も早く、年寄りには追えないようになってきました。

片やすすくすくと成長し、片や衰えていく(成長をたくさん越える)。

今は、行く筋を見、導くことと、いつも寄り添ってくれている方がおられることを伝え、見守っていくことだろうな。

合掌 ナンマンダブ

# お知らせ

令和三年

## 秋季彼岸会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止いたします。

## 広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※九月はお休みします。

## 行事報告

### 両講合同夏期講座

七月三十日(金)

午後二時より

場所 土屋 珉照寺



## 黎明講座

七月三十一日(土)

午前五時半～六時半

御講師

氷見組 法順寺

圓山 望師

八月一日(日)

午前五時半～六時半

御講師

川上組 本福寺

栗山 宣雄 師

## 盂蘭盆会

八月十五日(日)

午後二時より

十六日(月)

午前九時半より

午後二時より

## 廣濟寺護持委員会

八月二十二日(日)

午後二時より

# 編集後記

今月のお彼岸も中止させていただきました。七月三十一日(土)になりました。七月の時点では、秋のお彼岸にあわせて永代祠堂経法要をお勤めできるかなと思っていたのですが、コロナの状況を鑑み、慎重に対応させていただきました。楽しみにしておられた方々には申し訳ありません。それにしても、感染者数の増加というのは本当にあつという間ですね。一気に増えて、そうかと思えば今度は一気に減っている状況です。まさに「波」ですね。十一月には報恩講を予定していますが、何とかお勤めすることができればいいのですが。来月に護持会常任委員会を開き、対応を検討する予定です。さて、先月末に初めてのワク

チン接種に行ってきました。今は二回目の予約が必要なくなつたんですね。自動的に同じ時間に予約が入るようデビツクリ。高岡市もいろいろ工夫しているようです。

もうすぐ二回目を迎えます。ちよつとドキドキ、ちよつとワクワク。一足早く若坊守も二回目を済ませてきました。今のところ大丈夫なようです。コロナも来年はどうなっているでしょうか？さすがに落ちて着いてほしいですね。

